

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【公表番号】特表2004-510160(P2004-510160A)

【公表日】平成16年4月2日(2004.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-013

【出願番号】特願2002-530643(P2002-530643)

【国際特許分類第7版】

G 0 1 N 33/543

C 0 7 K 5/02

C 0 7 K 7/02

C 0 7 K 14/16

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 15/09

C 1 2 Q 1/68

// C 0 7 F 15/00

【F I】

G 0 1 N 33/543 5 2 5 G

G 0 1 N 33/543 5 2 5 E

C 0 7 K 5/02 Z N A

C 0 7 K 7/02

C 0 7 K 14/16

C 0 7 K 19/00

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 F 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成15年4月7日(2003.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複合体の作製のための、一般式(I)：

Z_n-Y-X_m (I)

[式中、Zは少なくとも1つの反応性官能基または結合性基であり、Xは、リンカーYを介してZに共有結合している反応性官能基であり(ここで、該リンカーは、1000Daより大きな分子量を有し、かつ少なくとも1つの電荷担体を含有する分枝リンカーである)、nは1~10の整数であり、mは1または2である]で表わされる化合物の使用。

【請求項2】

複合体の作製のための、一般式(I)：

Z_n-Y-X_m (I)

[式中、Zは少なくとも1つの反応性官能基または結合性基であり、Xは、リンカーYを介してZに共有結合している反応性官能基であり(ここで、該リンカーは、1000Daより大きな分子量を有し、かつ少なくとも1つの電荷担体および少なくとも1つの親水性

基を含有する分枝リンカーである)、nは1~10の整数であり、mは1または2である】

で表わされる化合物の使用。

【請求項3】

一般式(I)

$Z^n - Y - X^m$

〔式中、Zは少なくとも1つの反応性官能基または結合性基であり、Xは、リンカーYを介してZに共有結合している少なくとも1つの反応性官能基であり(ここで、該リンカーは、1000Daより大きな分子量を有し、かつ少なくとも1つの電荷担体を含有する分枝リンカーである)、nは1~10の整数であり、mは1または2である〕

で表わされる化合物。

【請求項4】

一般式(I)

$Z^n - Y - X^m$

〔式中、Zは少なくとも1つの反応性官能基または結合性基であり、Xは、リンカーYを介してZに共有結合している少なくとも1つの反応性官能基であり(ここで、該リンカーは、1000Daより大きな分子量を有し、かつ少なくとも1つの電荷担体および少なくとも1つの親水性基を含有する分枝リンカーである)、nは1~10の整数であり、mは1または2である〕

で表わされる化合物。

【請求項5】

少なくとも1つの生物学的物質と、請求項3または4記載の一般式(I)の化合物の少なくとも1つとを含有してなる複合体。

【請求項6】

該生物学的物質が抗体もしくは抗体断片、核酸、ポリペプチド抗原、免疫学的に反応性のペプチドまたはハブテンである請求項5記載の複合体。

【請求項7】

免疫学的検出法または核酸ハイブリダイゼーション法における請求項3または4記載の化合物または請求項5または6記載の複合体の使用。